



喜多 堊

冬至

今月二十一日は冬至です。一年で最も日照時間が短い日であり、まさに冬に至るといふ文字の通り、冬の寒さが厳しくなる時期です。古代においては、一年の暦の起点となる神聖な日とされ、東洋西洋を問わず、冬に行われる様々な行事の根幹には冬至にまつわるものも少なくありません。

日本では、冬至は「一陽来復」とも言われ、太陽のチカラが一番弱くなるこの日を過ぎれば、あとは太陽がチカラを再び取り戻していく大切な日とされます。この日に柚子湯に入ったり、小豆粥を食べたり、南瓜を食べるのも、心身のチカラを再び活発にしていこうという意味があるといわれます。

衆議院総選挙を経て、これからの国政を担う新内閣には、この国のチカラも再び取り戻すよう、真摯な治世をと願いたいものです。

茶屋町キャンドルナイト

今月十二日(水)の午後六時から午後十時まで、茶屋町界隈では、電気の照明を控えて、ロウソクの灯りで街を明るくする、「百万人のキャンドルナイト@大阪市二〇一二冬」が開催されます。たくさんのクリエイターの方々によるキャンドル作品が茶屋町一帯で展示されます。また今回は、梅田東地域の子ども会として初参加させて頂き、夢をテーマにした「ペーパーバック行燈展」として、地域の子さん方の作品も展示して頂いております。

桂佐ん吉さん落語会

今月九日(日)の午前十一時頃から、茶屋町の御旅社で人間国宝、桂米朝さんのお弟子さんの桂佐ん吉さんの落語会が開かれます。
(有料)五百円から・開場は午前十時三十分

詳細は米朝事務所までお問い合わせ下さい。
米朝事務所 ○六一三三六五八二八一

初詣のご案内

当神社では例年通り御本社、御旅社ともに

一月一日

午前0時～午後五時頃まで開門

いたします。また、新年のお守り、御神札などの授与も午前0時から開始致します。

今年一年間のご奉告と、来年一年間の無病息災を併せて初詣にどうぞお参り下さい。

御神札の祀り方

基本的には、お受けになられる方が一番大事にしたい神さまの御神札をお祀りになられるのが結構ですが、本義に基づいてお祀りされるのであれば、伊勢神宮、地元の氏神さまの御神札、個人的に崇敬されているお宮の御神札をお祀りされると良いでしょう。



三社造りの神棚の場合



一社造りの神棚の場合

新年祈禱について

新年のご祈禱につきましては必ず年内に御電話等でご予約下さい。飛び入りではお断りする事もございます。なお、一月四日から七日にかけては、茶屋町の御旅社ではご祈禱はお受け付け出来ませんのでご注意ください。

御本社 〇六・六三六一・二八八七

御旅社 〇六・六三七一・一五八六

神社携帯サイトのQRコード

ドコモ、ソフトバンク、
au、モバイルPC 対応



編著 網敷天神社 禰宜(神主)

白江 秀 知

